

令和7年度県立広島大学 卒業式・大学院学位記授与式

理事長祝辞

令和7年度県立広島大学卒業式・学位記授与式が挙行されるこの良き日にあたり、お祝い申し上げます。

卒業ならびに修了を迎えられた皆さん、誠におめでとうございます。これまでの皆さんの努力に、深く敬意を表しますとともに、長い間、皆さんを見守ってくださいました、御家族や関係者の皆様にも、心よりお慶びを申し上げます。

本日、皆さんは県立広島大学を卒業、修了されます。

入学してから今日まで、本学で過ごした日々を振り返り、思い出してみてください。勉学や研究に取り組み、夢に向かってまい進した日々。様々な経験を通じて、勉学以外の見識を広めた日々。友人たちと、共通の活動を通じて交流を深め合った日々。いろいろな出来事が思い出されるでしょう。

皆さんは、その思い出にある、本学での教育や研究、学生生活の様々な場面を通じて、力強く成長し、確かな力を身に付けられました。

皆さん自身、そのことを実感しておられるのではないのでしょうか。大学での経験を、是非、誇りと自信にさせていただきたいと思います。御家族、関係者の皆様におかれても、卒業生・修了生の成長した姿に、感慨もひとしおのことと存じます。

現在、社会は、AIの進展といった急速な技術革新や、価値観の多様化など、大きな変化の時代にあります。そのような中、皆さんの多くは、これから社会に羽ばたいていかれると思います。時には、困難や課題に直面することがあるでしょう。そのような時は、本学で培った知識や専門性、そして課題解決力を発揮し、乗り切ってもらいたいと思います。

また、こうした困難や課題を解決し、社会をよりよくしていくためには、人と人との繋がりも、とても重要です。皆さんには、国や地域を超え、いろいろな人と繋がり、自分の価値観を大切にしながら、多様な価値観を受容できるような人になってもらいたいと思います。

皆さんなら、どんな障壁も乗り越えていけると信じています。本学で身に付けた力を存分に発揮するとともに、社会に出てからも成長の歩みを止めず、前に進んでいってください。

皆さんが本学の誇りとして、それぞれの分野で活躍されることを心から期待しております。

結びに、卒業生・修了生の皆さんのこれからの人生が実り多く、希望に満ちたものになることを祈念し、私のお祝いの言葉といたします。

本日は、誠におめでとうございます。

令和8年3月25日

広島県公立大学法人 理事長 鈴木 典比古